

申2号

2025年3月ダイヤ改正検証についての申入れ

【 : 組合、 : 会社】

11月26日開催 交渉要旨その6

《浦和統括センター北オフィス》

- 成果と課題は？
- どのようなことを進めていくのか？
- 業務内容はどこが決めているのか？

- 成果は駅業務等の視野が広がった。課題はまだまだ進めていく必要がある。
- 他の統括センターでは、改札業務、分割併合、はこビュン等も行っている。
- 現場で決めている。支社から指示していない。

2. 関係職場と調整を行い、乗務キロに隔たりがないように行路を作成すること。

(回答) 行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

- 職場のダイヤ改PTが作成しているのか？
- 休日の欠行路が解消されない！

- リーダー区の品川統括センターPTが3区に振り分けている。概ね平準化できている。
- 区の特情が大きい。意見として承る。

3. 遠距離通勤をしている乗務員が初電で通勤できるように出勤時間を設定すること。

(回答) 行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

- 現行6時54分出勤が1番早い。せめて新幹線の初電が間に合う7時20分頃にならないか？
- この問題は他職場でも発生している。コミュニケーションが大切と会社は言うが、一言もコミュニケーションが無く、実質前泊の勤務指定がなされている。であれば行路を変えてもらうしかないということ！

- 少しでも下げられるように努力している。寝室は確保しているので活用して欲しい。
- コミュニケーションを図っていくことは重要である。

4. 蒲田場面での異方向の乗り継ぎ時間を拡大すること。

(回答) 行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

《その7へつづく》